

「倒産発生率」は 0.44% 高水準で一進一退

業種別では小売業が最高

鹿児島県・「倒産発生率」調査(2025年)



本件照会先

日比生 秀一(支店長)
帝国データバンク
鹿児島支店
099-223-8208
info.kagoshima@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/04/06

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025年鹿児島県の倒産発生率は、0.44%(前年比+0.09pt)となり、直近10年間は一進一退あるものの、高止まりが続いている。業種別では、小売業が1.00%(前年比+0.44pt)で最高水準、唯一1%台となった。

帝国データバンク鹿児島支店は、企業概要データベース「COSMOS2」から各年の鹿児島県及び業種別の事業所数を抽出。事業所数を分母とし、それぞれに対応する倒産件数から「倒産発生率」を算出した。

倒産発生率算出方法: 倒産件数 ÷ 企業概要データベース「COSMOS2」事業所数 × 100

集計対象: 負債1,000万円以上・法的整理による倒産

集計期間: 2000年1月～2025年12月

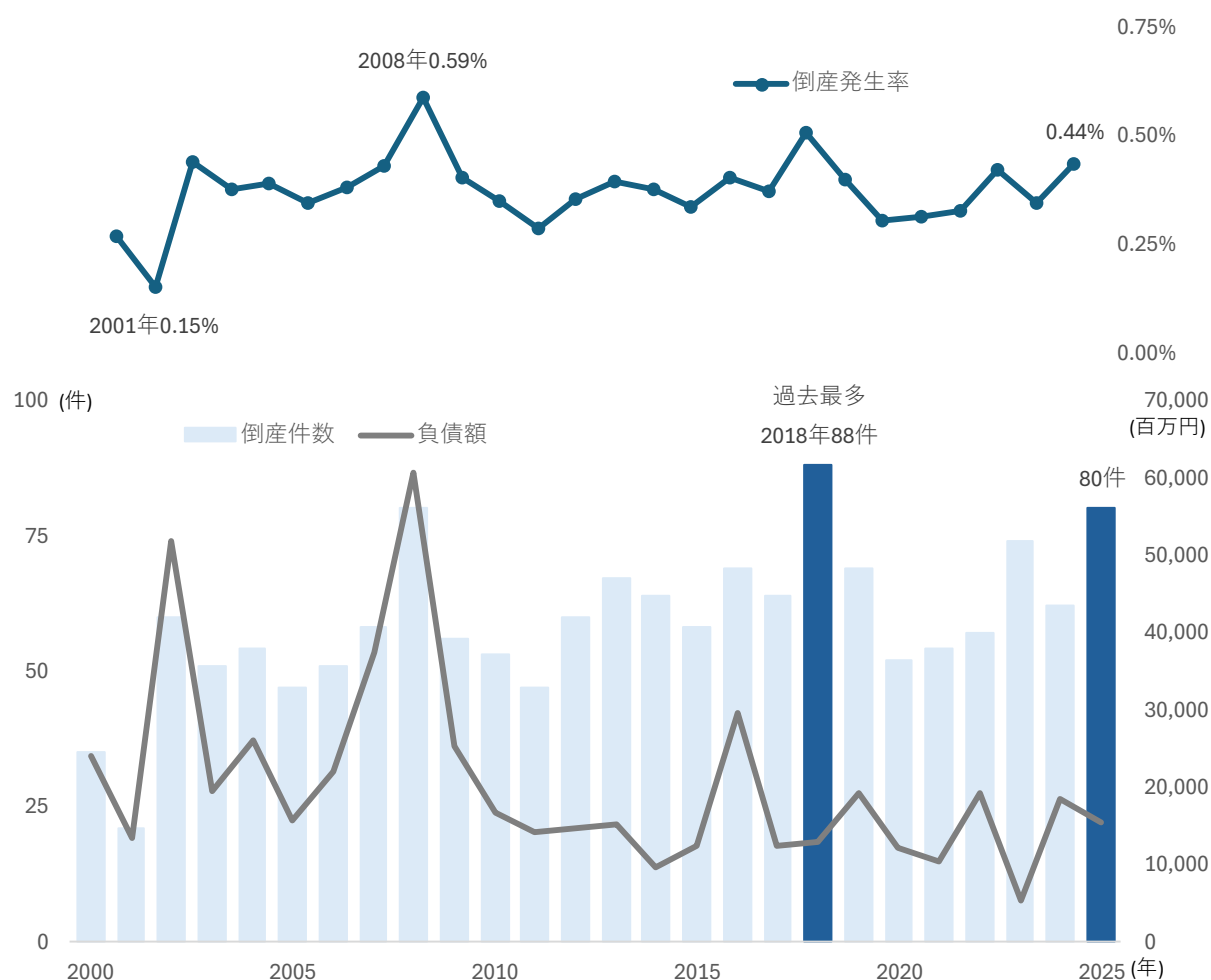
2025年鹿児島県「倒産発生率」は0.44%

2025年の鹿児島県企業倒産件数は80件(前年比29.0%増)で、7年ぶりに80件台となり、リーマンショック時の2008年80件に並んで過去2番目に多い件数となった。一方、負債総額は152億5,100万円(同16.9%減)で、2年ぶりに減少した。負債額別で、「負債5,000万円未満」の倒産34件(構成比42.5%)が最多となり、小規模倒産が主体となっている。

帝国データバンク鹿児島支店は、企業概要データベース「COSMOS2」から各年の鹿児島県別及び業種別の事業所数を抽出。事業所数を分母とし、それぞれに対応する倒産件数から「倒産発生率」を算出した。

2025年鹿児島県の倒産発生率は、0.44%(前年比+0.09pt)となり、直近10年間は一進一退あるものの、高止まりが続いている。2020年以降新型コロナウイルス感染拡大に伴い、政府による支援策もあって倒産件数及び倒産発生率は多少落ち着きを見せていたものの、2023年以降倒産件数の増加とともに、倒産発生率も上昇し、高止まりが続いている。

鹿児島県 倒産件数及び倒産発生率推移



業種別では小売業が最高水準

業種別では、小売業が 1.00% (前年比+0.44pt) で過去最高を更新。唯一 1% 台となった。また、その他 (0.74%、前年比-0.01pt)、製造業 (0.68%、同±0pt)、卸売業 (0.64%、同+0.41pt) を含めた計 4 業種が全体 (0.44%) を上回り、全 8 業種中 5 業種で前年を上回る結果となった。

2025 年九州・沖縄地区の倒産発生率と比較すると、全 8 業種のうち、製造業 (0.68%、九州・沖縄 0.61%)、不動産業 (0.42%、同 0.17%)、その他 (0.74%、同 0.58%) の 3 業種で九州・沖縄地区の水準を上回り、卸売業 (0.64%、同 0.67%) と小売業 (1.00%、同 1.01%) の 2 業種は同水準で推移、九州・沖縄地区と同様に倒産リスクの高止まりがうかがえる。

鹿児島県 業種別「倒産発生率」推移 (2016 年～2025 年)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	【参考】 九州・沖縄
建設業	0.46%	0.34%	0.30%	0.34%	0.24%	0.10%	0.28%	0.35%	0.29%	0.21%	0.31%
製造業	0.68%	0.38%	0.38%	0.22%	0.23%	0.74%	0.22%	0.45%	0.68%	0.68%	0.61%
卸売業	0.28%	0.68%	0.90%	0.46%	0.52%	0.46%	0.52%	0.63%	0.23%	0.64%	0.67%
小売業	0.61%	0.64%	0.89%	0.71%	0.59%	0.51%	0.60%	0.72%	0.56%	1.00%	1.01%
運輸・通信業	0.00%	0.35%	0.54%	0.00%	0.53%	0.18%	0.00%	0.18%	0.70%	0.17%	0.49%
サービス業	0.24%	0.19%	0.39%	0.32%	0.18%	0.25%	0.26%	0.30%	0.18%	0.26%	0.45%
不動産業	0.10%	0.30%	0.31%	0.42%	0.00%	0.11%	0.21%	0.32%	0.10%	0.42%	0.17%
その他	0.85%	0.13%	0.87%	0.72%	0.35%	0.67%	0.33%	0.43%	0.75%	0.74%	0.58%
全体	0.41%	0.37%	0.51%	0.40%	0.30%	0.31%	0.33%	0.42%	0.35%	0.44%	0.49%

※前年比上昇は色付き

まとめ

2025 年鹿児島県の倒産発生率は、0.44% (前年比+0.09pt) となり、直近 10 年間は一進一退あるものの、高止まりが続いている。業種別では、小売業が 1.00% (前年比+0.44pt) で過去最高を更新。唯一 1% 台となったほか、全 8 業種中 5 業種で前年を上回る結果となり、倒産リスクの高止まりがうかがえる。

2020 年の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、政府による支援策もあって倒産件数及び倒産発生率は落ち着きを見せていた。しかし、近時の物価高騰や人件費上昇に加え、米国の関税政策など地政学リスクの高まりといった環境要因を背景として、2023 年以降倒産件数は増勢を持続。2025 年の鹿児島県企業倒産件数は 80 件 (前年比 29.0% 増) で、7 年ぶりに 80 件台となり、リーマンショック時の 2008 年 80 件に並んで過去 2 番目に多い件数となった。

今後、企業としては、人材確保・価格転嫁の定着・コスト削減など、変化の激しい環境への対応力が問われる。